

## **【成果情報名】 甲州富士桜ポークの生産性の向上が期待される種豚の組合せ**

**【要約】** 開放型育種を実施しているフジザクラ系ランドレース（L<sub>2</sub>）に大ヨークシャー種の系統豚（アイリスW 2、タテヤマヨーク 2、フジヨーク 2）を交配し生産したLW母豚に系統豚フジザクラDBを交配して肉豚を生産し組合検定を行うと、大ヨークシャー種にタテヤマヨーク 2を使用したLW母豚から生産した肉豚で肥育後期の一日平均増体重が多く、市場で上物・中物に格付けされる率が高くなる。産肉成績、肉質成績に差は認められない。

**【担当】** 山梨県畜産酪農技術センター・養豚科・池永直浩

**【分類】** 技術・参考

---

### **【課題の要請元】**

農業代表者、畜産課

### **【背景・ねらい】**

山梨県の銘柄豚肉である甲州富士桜ポークは、フジザクラ系ランドレース種と大ヨークシャー種の一代雑種を母豚、フジザクラDBを親雄豚にして生産しており、その生産性や発育性、市場流通の際に重要となる上物率や肉質等、生産者の出荷成績の向上のために、フジザクラDBと相性のよいLW種の選定を行い高品質なブランド豚肉の生産を推進する。

### **【成果の内容・特徴】**

1. フジザクラ系ランドレース（L<sub>2</sub>）に大ヨークシャー種の系統豚タテヤマヨーク 2を掛け合わせたLW母豚から生産した肉豚で1日平均増体重（肥育後期）が多くなる（ $p < 0.05$ ）（表1）。
2. 産肉成績に差は認められない（表2）。
3. フジザクラ系ランドレース（L<sub>2</sub>）に大ヨークシャー種の系統豚タテヤマヨーク 2を掛け合わせたLW母豚から生産した肉豚の枝肉市場格付は、上物・中物率が84.2%である（表3）。
4. 肉質成績に差は認められない（表4）。

### **【成果の活用上の留意点】**

1. 肥育後期の供試飼料は、甲州富士桜専用飼料を使用した。
2. 繁殖に関しては3系統とも差がないため、留意することはない。

### **【期待される効果】**

1. フジザクラ系ランドレース（L<sub>2</sub>）でLW母豚を生産する場合、大ヨークシャー種にタテヤマヨーク 2を用いると、その生産した肉豚の肥育後期の成長は早いため、生産コストの削減が望める。また、市場格付で上物・中物率が高いため銘柄認定率の向上による甲州富士桜ポークの生産頭数の増加が望める。

### **【具体的データ】**

試験区分：大ヨークシャー種の違いによる比較試験

試験区① L<sub>2</sub>W〔フジザクラ系ランドレース種×アイリスW 2〕×フジザクラDB

試験区② L<sub>2</sub>W〔フジザクラ系ランドレース種×タテヤマヨーク 2〕×フジザクラDB

試験区③ L<sub>2</sub>W〔フジザクラ系ランドレース種×フジヨーク 2〕×フジザクラDB

表1 肉豚の発育成績

区分	例数 (頭)	試験終了体重 (kg)	110kg 到達日齢 (日)	肥育試験日数 (日)	一日平均増体重 (肥育後期) (g)	飼料要求率 (%)
試験区①	22	110.7±5.4	164±9	44±8	949±117 a	3.97±0.53
試験区②	10	113.2±4.5	155±11	37±9	1103±133 b	3.48±0.43
試験区③	14	112.8±3.6	155±8	48±8	917±152 a	3.63±0.66

(異符号間に有意差あり p&lt;0.05)

表2 肉豚の産肉成績

区分	例数 (頭)	枝肉重量 (kg)	歩留まり (%)	と体幅 (cm)	背腰長 (Ⅱ) (cm)	背脂肪厚 (背部位) (mm)	ロース断面積 (10-11 間) (cm <sup>2</sup> )
試験区①	22	74.1±2.9	67.1±2.4	32.8±0.8	68.7±2.6	24±5	39.5±5.9
試験区②	10	75.9±4.1	67.0±2.3	32.8±0.9	68.7±2.0	23±4	43.9±4.3
試験区③	14	74.2±3.2	65.8±1.8	32.7±1.5	69.7±2.6	25±4	35.6±4.4

表3 肉豚の市場格付成績

	例数 (頭)	格付 (%)				格落原因
		上	中	並	等外	
試験区①	44	38.6	34.1	25.0	2.3	厚脂(21)、腹薄(6)、他(4)
試験区②	19	31.6	52.6	10.5	5.3	厚脂(7)、腹薄(5)、他(3)
試験区③	16	37.5	31.3	31.2	0.0	厚脂(8)、腹薄(1)、他(2)

表4 肉豚の肉質成績

区分	例数 (頭)	筋肉内脂肪 (%)	加圧保水力 (%)	ドリップロス (%)	加熱損失 (%)	破断力価 (g)	融点 (°C)
試験区①	22	3.2±0.7	75.6±8.7	2.1±1.2	25.9±2.0	649±96	32.4±2.6
試験区②	10	3.7±0.8	81.7±6.0	2.3±1.6	23.4±2.1	556±80	30.7±1.9
試験区③	14	3.7±1.5	70.7±6.5	2.5±1.4	24.7±2.1	598±80	33.9±2.5

## 【その他】

研究課題名：系統豚「フジザクラDB」の組合せ検定

予算区分：県単

研究期間：2016年度～

研究担当者：池永直浩、菊嶋敬子、鈴木結乃、古屋元宏、鷹野由紀